

ヘルメット

仕様
EA998AC-1 1個売り
~~EA998AC-1A 5個セット売り~~ 取扱い中止



○特長

- ・厚生労働省保護帽検定合格品
飛来・落下物用 墮落時保護用
電気用
- ・深くかぶれて、安定性抜群 軽量タイプ
- ・帯電防止処理をしていますので、ほこりが付きにくい



○仕様

- ・材質…ヘルメット:熱可塑性ABS樹脂
ヘッドバンド:高圧ポリエチレン樹脂
あご紐:合成繊維
- ・サイズ…220 X 285 X 160(H)mm
頭サイズ:53~61cm
ひさし長:約 40mm
- ・重量…約380g
- ・スチロールライナー入り

【保護帽の使用前の点検】 保護帽を使用する前にチェックポイントによって点検し少しでも異常が認められるものは使用しないで下さい。

①縁がかかりたり折れたりしているもの	②すりきずが多いもの	③衝撃のあとがあるもの	④変形しているもの	⑤著しい変色があるもの	⑥あごひもが破損し、又は著しく汚れているもの
⑦汚れが著しいもの	⑧取り付け部に異常があるもの	⑨メーカーがあけた以外の穴があいているもの	⑩取り付け穴に異常があるもの	⑪ガラス繊維が浮き出ているもの	⑫ヘッドバンドが損傷しているもの
			FRP製	FRP製	

○ヘルメットの種類と構造

ヘルメットの種類: 飛来・落下物用 墮落時保護用 電気用
ABEタイプ 兼用型タイプ

- 構造:
- ・帽体…頭部を覆う硬い殻(つば及びひさしを含む)
 - ・装着体…保護帽を頭部に保持し、感触をよくするとともに、衝撃を緩和する大事な部分(帽体内側止めと鉋止めの2種類あります)
 - ・あご紐…保護帽が頭部より脱落しないための絶対必要な部分
 - ・衝撃吸収ライナー…衝撃を吸収するための部分(断熱や保温のためのものではありません)

○使用区分

- ・物体の飛来または落下による頭部への危険を防止または軽減
- ・墮落による危険を防止または軽減するためのもの

○ヘルメットは帽体・装着体・あご紐・衝撃吸収ライナーなどの部品によって構成されています。

これらの部品全体の総合特性によって暗線性能が発揮されます。

したがって、部品の一部でも性能が低下すれば、ヘルメット全体の安全性能も低下し、危険防止または軽減ができなくなります。

使用する前に、必ず保守点検事項、警告事項、危険事項、注意事項などを確認の上ご使用ください。

警告

(生命又は頭部に重大な傷害を及ぼします。)

- ① [労・検] ラベルが貼付されていない保護帽は使用しないで下さい。
- ② 一度でも大きな衝撃を受けたら、外観に異常がなくても使用しないで下さい。
(一度衝撃を受けた保護帽は保護性能が低下し、次に衝撃を受けた場合、頭部を十分に保護することが出来ません。)
- ③ あごひもは必ず正しく締めて使用して下さい。(事故時に保護帽が脱げて頭部に重大な傷害を受けます。)
- ④ 保護帽を改造あるいは修繕や加工をしたり、部品を取り除いたりしないで下さい。
- ⑤ 使用期間が長い保護帽は使用しないで下さい。特に帽体の材質を確かめて、PE、ABS等の熱可塑性樹脂製の保護帽は、異常が認められなくても3年以内、FRP等の熱硬化性樹脂製の保護帽は5年以内に交換して下さい。
- ⑥ 着装体は1年位で交換して下さい。構成される部品に劣化、異常が認められた場合は直ちに交換して下さい。

注意

(機能や性能に影響を与え、保護帽本来の性能を損ない、頭部に傷害を及ぼします。)

- ① ヘッドバンドの調整が悪いと、使用中ぐらついたり脱げやすく、保護性能を十分に発揮することができません。
- ② メーカー指定以外の部品、付属品を取り付けしないで下さい。(機能が低下したり、性能が損なわれます。)
- ③ メーカー指定の部品、付属品を取り付けるときは、部品、付属品の取扱説明書にしたがって取り付けて下さい。
- ④ 着装体、あごひもが汚れたときは、交換して下さい。交換するために組み立てるときは、完全に元どおりに組み立てて下さい。
- ⑤ 交換のために部品を取り外したときは、部品類を紛失しないよう注意して下さい。部品類を紛失したときは、他の部品と交換したり、部品不足のまま使用しないで下さい。(性能が損なわれます。)
- ⑥ 炉前、乾燥炉内、投光器のすぐ近く等のような高温な場所での長時間作業はしないで下さい。(材質が変質し、変色や変形を起こし、性能が低下します。)
- ⑦ 夏季の自動車内や暖房器の近く等のような50℃以上の高温になる場所や、直射日光のあたる場所に長時間放置しないで下さい。(材質が変質、変色や変形を起こし、性能が低下します。)
- ⑧ メーカーで行った塗装以外は、帽体に塗装を行わないで下さい。(帽体の材質が侵され、性能が低下します。)
- ⑨ 保護帽に腰掛けたり、物を入れて運んだりしないで下さい。(保護帽が変形し、着装体、衝撃吸収ライナー、帽体等を傷つけ性能が低下します。)
- ⑩ 保護帽を床等に放り投げると、衝撃で帽体の材質を傷め性能が低下するので、保護帽は丁寧に扱って下さい。
- ⑪ メーカーが取り扱っている以外のステッカーやラベル等を貼り付けしないで下さい。(薬品、粘着材等によって帽体が侵されたり、耐電圧性能が低下します。)
- ⑫ 保護帽の汚れは薄めた中性洗剤で拭き、柔らかい布を真水で濡らし、拭き取って下さい。(シンナーやベンジン、アルコール等の溶剤は帽体や部品の性能を劣化させるので絶対に使用しないで下さい。)

●労働安全衛生規則の規格には次のような種類があり、下記のような記号で表示してあります。

- A** → **飛来・落下物用**  物体の飛来又は落下による危険を防止又は軽減する為のもの。
- B** → **墜落時保護用**  墜落による危険を防止又は軽減する為のもの。
(内面にスチロールライナーが入っている。)
- E** → **電気用**  作業中の頭部感電による危険を防止する為のもの。
使用電圧：7,000V以下。

保護帽は品番によって次のような兼用タイプになっております。

- A** →  飛来・落下物用の単独タイプ。
- AB** →   飛来・落下物用+墜落時保護用の2種兼用タイプ。
- AE** →   飛来・落下物用+電気用の2種兼用タイプ。
- ABE** →    飛来・落下物用+墜落時保護用+電気用の3種兼用タイプ。